

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	・またワクチン接種で新型コロナウイルス新規感染者数が減ると考えるが、根本的な対策がないため繰り返しになっている。重症者は減っているが、今後対策を考えないと経済はうまく回らない。飲み菓や検査方針の改善が今後の鍵になるとみている。
	○	百貨店（店舗企画）	・県をまたいだ行動制限がなければ、現状を保ちつつ、経済的には回復に向かうとみている。
	○	スーパー（企画担当）	・7月は、前年割れした来客数の落ち込みが6月と比べると前年比で2～3%ほど良くなっている。今後の新型コロナウイルス新規感染者数の状況にもよるが、来客数の回復の兆しが少しずつみられることから、営業面ではプラス面に働くとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大はしているが、対策して来店する客が増えているため、ドリンクや弁当、ファーストフードの売上は上昇している。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症を取り巻く環境が良くなるとは考えていないが、消費者がコロナ禍の状況に順応しており、第何波ということになっても以前ほどの来客数減少がみられなくなっている。ある程度新型コロナウイルス感染症と共存した経済活動ができてきていると判断している。
	○	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第7波も徐々に落ち着き、経済活動も活発になり消費行動も更に上振れし、景気は良くなっていくと判断する。
	○	通信会社（営業担当）	・今後新型コロナウイルスの感染状況が収まれば市場は活気付き、景気も回復するのではないかと期待している。
	○	住宅販売会社（代表取締役）	・個人住宅に関しては良くもなく悪くもないが、販売開始した分譲マンションに関しては、順調な滑り出しで反応が良い。
	□	スーパー（販売企画）	・商品の値上がりや新型コロナウイルス感染者数が多く、しばらくは厳しい状況が続く。
	□	コンビニ（副店長）	・正直、良くなるとみているが、行政の判断や発言に影響を受けやすく、立地と、現状の受け取り方によって浮き沈みはある。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は前月より余裕を感じたスタートであったが、中盤頃から新型コロナウイルスの感染再拡大が始まってきた影響か、客の出が悪くなってきている。まだ景気は良くなる気配がみえない。
	□	家電量販店（営業担当）	・感染拡大による影響が、短期間で改善に向かうとは考えにくい。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染急拡大で7月の大型イベントを中止した。急拡大が止まらないようであれば今後経済活動を抑制せざるを得ないのではないかと。その場合は下振れもあり得るとみている。
	□	その他専門店〔陶器〕（製造）	・全体の新型コロナウイルス感染症に対する対応や情報提供の在り方が変わらない限り、上がり下がり繰り返しを繰り返すことになるかとみている。
	□	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊に関しては旅行者の予約が増えている。全国旅行支援などの施策が秋には行われれば、今後も旅行者が増え宿泊稼働率も上がると予想している。飲食の予約は増えていない。新型コロナウイルスの感染状況による社会の変化で増えそうにない。売上は上向きだが、新型コロナウイルス感染症発生前の状態の半分程度で、この先景気が良い状態になるとは言い難い。
□	旅行代理店（マネージャー）	・新型コロナウイルス感染症の隔離期間などが、世の中の実情とかけ離れているため結局は行動制限がされているのと一緒だと考えられる。旅行にも行きたくても感染して周りに迷惑が掛かるのを恐れて断念している人も多い。	
□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により一時的にキャンセルは発生しているものの、新規も同レベルで受注できている。今後、更なる行動規制等が発出されなければ現状とそれほど変わりはないと見込んでいる。	

	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（役員）	・最近の新型コロナウイルス新規感染者数の増大により営業活動が十分行き届いていない。売上維持がやっとである。
	<input checked="" type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・この景気の低迷は2～3か月で改善されるものではないとみている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの9月の販売室数は前年比344%増加なのに対し、7月末時点での10月の予約室数は前年比74%増加と、プラス幅が小さくなっている。
	<input type="checkbox"/>	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・夏場の一番の稼ぎ時に過去最高の新型コロナウイルス感染者数を更新して、落ち着いても客数が戻るまではまた時間が掛かる。また、最低賃金の値上げ、食材の高騰、始業前のアルコールチェックなどで、平日遅くまで酒を飲む人は確実に減っていく。副業、業態転換を考えている。
企業 動向 関連 (沖縄)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営企画室）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、景気が良くなっていることを期待し、やや良くなると回答する。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（役員）	・引き続き急激な円安と資源価格の高騰が続く間は中小企業にとって厳しい状況は変わらない。賃金上昇と値上げの価格転嫁がうまく機能する頃に、徐々に景気も上向きになっていくことを期待している。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門では石垣島の陸上自衛隊関連工事が順調に進み、民需部門では宮古島のホテル等で回復がみられる。ウクライナ問題での燃料価格高騰の影響か、フィリピン産川砂の入荷が滞り、本島からの県内輸送に切り替わる見込みだが、新型コロナウイルスオミクロン株別系統の影響が現場にて深刻となっている。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、県内企業の販促活動は、特にリアルイベント型の業務が中止、延期を余儀なくされており、先行きの見通しが立ちにくい状況にある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	窯業土石業（取締役）	・原材料の価格高騰が続いているが、価格転嫁が追い付かない状況で、収益面で更に厳しくなることが予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	会計事務所（所長）	・今後、コロナ禍への対応とした無利子、無担保融資の返済が、最終的に県民生活に影響する可能性がある。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・具体的に商談に進む見込み度の高い客の来社、問合せが止まっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
雇用 関連 (沖縄)	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（営業）	・新型コロナウイルス感染症発生前のような、シーズンによる求人数増減の周期に戻りつつあると感じており、今から秋口にかけて求人数の増加を予測している。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・4～6月の求人数の伸びよりは鈍化したが、依然前年同月より数は増えている。新型コロナウイルス感染症第7波の影響で、求人を取下げするという声はない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きい。人手不足感が続いている。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加と円安による物価高が出てきている。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が急増してはいるが、柔軟な対応ができてきているIT業界はそこまで影響は受けないため、現状が継続するとみられる。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響が続いている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	—	—